

平成29年度 愛臨技 輸血検査研究班研究会アンケート

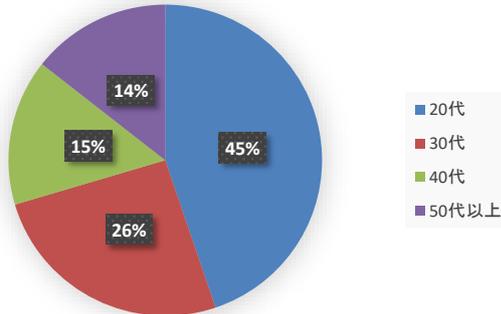
日時：平成29年5月13日(土) 15:00～17:30

場所：藤田保健衛生大学生涯教育研修センター棟2号館1F101講義室

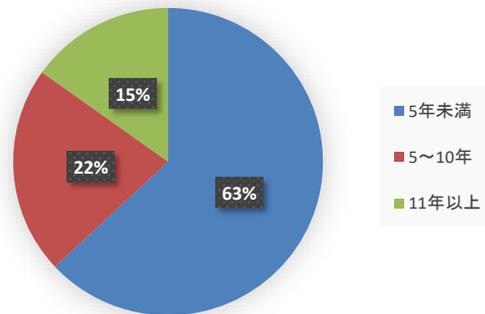
テーマ：『日当直時に困らない 輸血検査・業務を整理しよう!!』

参加人数：168名 アンケート回収：125名 (回収率 74.4%)

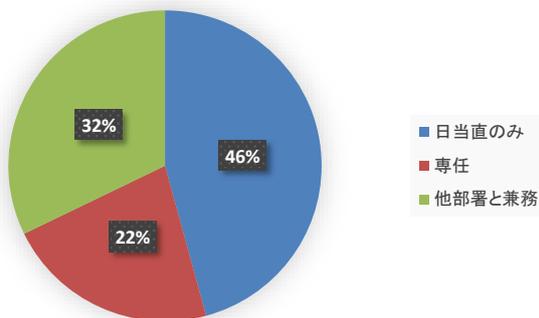
年代別参加者の内訳



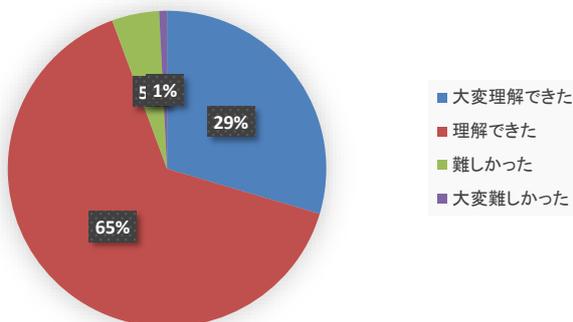
輸血経験年数の内訳



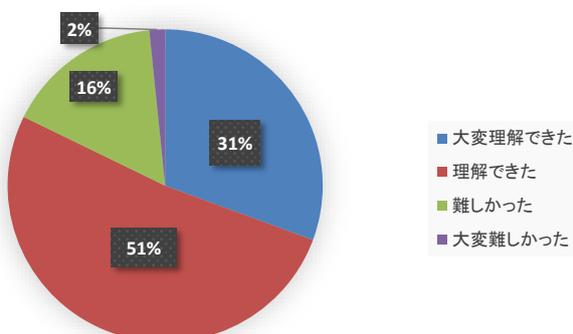
業務形態の内訳



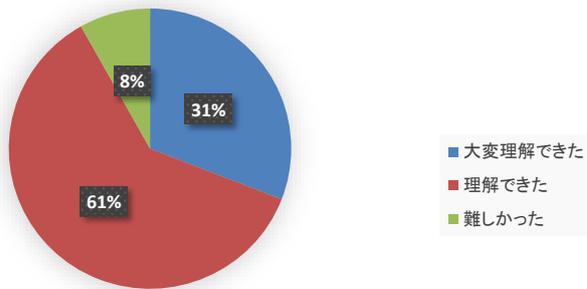
質問1. 講演1『血液型検査について整理しよう!!』の内容はわかりやすかったですか？



質問2. 講演2『不規則抗体検査と交差適合試験について整理しよう!!』の内容はわかりやすかったですか？

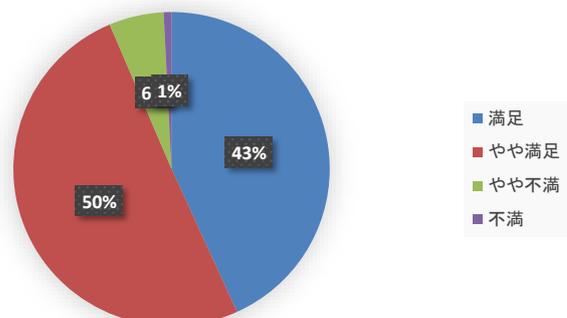
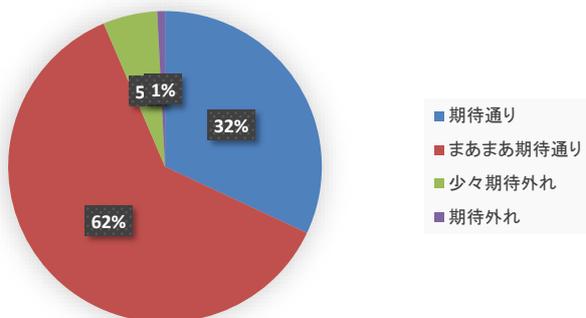


質問3. 講演『緊急輸血の対応について整理しよう!!』の内容はわかりやすかったですか？



質問4 あなたの期待と講演内容は一致しましたか？

質問5 研究会全体を通して満足されましたか？



質問6 今後研究班に希望する研究会・講演会があればご記入ください。

- ・自己抗体陽性時の対応について
- ・直接クームス陽性の患者様で、赤血球製剤の適合血を準備するのに苦労するケースがあるので、対処法と臨床側への対応について聞きたい
- ・症例検討や報告について
- ・認定の試験対策など
- ・年1回は、日当直者でもわかる輸血の講演を続けて欲しい
- ・リーフレットの内容についての講義、基礎講座の講義のみを研究会ですて欲しい
- ・普段遭遇しない抗体の対応など
- ・分画製剤などについて
- ・各施設で対応に苦慮した特殊事例の相談会等
- ・血液製剤使用指針の改定内容について
- ・不規則抗体陽性の場合のパネル血球の見方、どの抗体が多いかなど教えて欲しい
- ・不規則抗体の判定法をより詳しく知りたい
- ・中級者向けの研修会
- ・動画を用いた手技の講演会があるとイメージが付きやすい(日当直者向けの簡単なもの)
- ・事例報告(規模ごと、保有試薬状況等にわけての症例)
- ・病院勤務だけでなく、クリニック勤務の方にも聞きやすくわかりやすい研究会
- ・産科危機的出血について
- ・緊急時の輸血対応
- ・T&Sの運用について(小児の場合どのように運用しているのか)
- ・抗体解離試験など特殊試験について

質問7 その他ご意見がありましたらご記入ください。

- ・もう少し事例に基づいた説明があると理解しやすかった
- ・講演2でわかりにくいところが早く説明が進んでしまった
- ・普段あまり起こらないことを中心に説明してくださるとても勉強になりました
現場で実際に起こった時に今回の講演を生かして冷静の対応したいです
- ・フロアからの質問に対して班員間で連携して回答できるといいと思いました
- ・講演の合間に休憩が欲しい
- ・空調がとても悪かった